

熊谷ロータリークラブ会報

KUMAGAYA ROTARY CLUB BULLETIN



Rotary District 2570

The President's Call for Action 2025-2026

事務局

〒360-0041
熊谷市宮町2-146 飯島ビル5階
TEL 048-577-3377
FAX 048-526-3164

発行者

会長 松崎 邦夫
幹事 井上 浩

例会場

金曜日 12:30~13:30
熊谷市宮町2-43
東京海上日動ビル5階

公共イメージ委員会

委員長 山口 寿人
副委員長 根本 幸一
委員 栗原 尚孝 齋藤 邦裕
委員 重竹 淳一

司会 岡部 聡史 副SAA 点鐘 松崎 邦夫 会長 ソング それでこそロータリー

会長の時間

熊谷ロータリークラブ 会長 松崎 邦夫

会員の皆さま、こんにちは。

1月の最終例会にあたり、職業奉仕月間の締めくくりとして、会長としての考えを少しお話しさせていただきます。職業奉仕は、言うまでもなくロータリークラブの根幹をなす理念です。ただし、その意味合いは、時代や地域の状況によって、少しずつ姿を変えてきたのではないかと感じています。熊谷ロータリークラブは、1953年(昭和28年)、埼玉県内では川越に次ぐ二番目のクラブとして発足しました。戦後の復興期を経て、日本が成長へと向かう時代背景の中で、地域を支える職業人が集い、地域社会に貢献することを目的として歩みを始めたクラブです。



創立当初の熊谷ロータリークラブでは、「一業種一社一名」という考え方を大切にしながら、地域を代表する職業人の集まりとしてクラブ運営がなされてきました。当時の会員の多くは、地域において「その業種を代表する存在」いわば一番店としての誇りを持ち、またその期待を受けて推薦・勧誘されてきた方々であったと伺っています。現在では、社会や産業構造の変化に伴い、職業分類そのものが拡大・再編され、その運用は柔軟なものとなっています。しかし、自らの職業に誇りと責任を持つという精神は、創立以来、変わることなく受け継がれているものだと感じています。私は、この熊谷ロータリークラブの歩みの中に、職業奉仕の本質があると考えています。職業を全うすること。自らの事業を、健全で、誠実で、社会から信頼される形で継続していくこと。それ自体が、地域に対する大きな貢献であり、地域奉仕そのものではないでしょうか。利益を上げることだけが目的ではなく、雇用を守り、取引先と信頼関係を築き、地域経済を支え続ける。その積み重ねこそが、ロータリーが言う「職業奉仕」であり、また熊谷ロータリークラブが長年にわたり実践してきた姿なのだと思います。

時代は変わり、地域や社会が抱える課題もより複雑になっています。だからこそ、「自らの職業を通じて地域に責任を持つ」という姿勢は、これからの時代においても、ますます重要になってくるのではないのでしょうか。

1月の職業奉仕月間を終えるにあたり、改めて、私たち一人ひとりが自分の仕事、自分の会社を見つめ直し、熊谷ロータリークラブらしい職業奉仕をこれからも着実に積み重ねていければと思います。

以上、職業奉仕月間のまとめとして、会長の時間とさせていただきます。
ありがとうございました。



来客・来訪ロータリアン紹介 石垣 伸明 副会長

卓話講師

地域デザインラボさいたま

代表取締役社長

そのだ たかふみ
園田 孝文 様

卓話テーマ

「地域活性化に向けたラボたまの取組み」



幹事報告

井上 浩 幹事

1. 田母神 俊雄 氏 講演会開催のご案内

日 時：2026年02月28日（土）12：00～受付 12:30点鐘

場 所：キングアンバサダーホテル熊谷 4階会場

申 込：2月5日（木）までに事務局宛にお願い致します。

2. 2026-27年度 地区チームラーニングセミナー（D.T.L.S）開催のご案内

日 時：2026年03月08日（日）13：30（13：00～登録開始）～16：30

※終了後に懇親会有

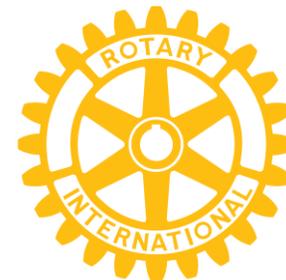
場 所：紫雲閣（東松山市箭弓町2-5-14 TEL 0493-23-5151）

登録料：5,000円 ※懇親会に出席される方のみ

（当日集金させていただきます）

なお、懇親会へ急遽出席できなくなった場合は速やかにご連絡下さい。

申 込：2月12日（木）までに事務局宛にお願い致します。



卓話

講師紹介 プログラム委員会 委員 前原 郷

卓話講師 地域デザインラボさいたま

そのだ たかふみ

代表取締役社長 園田 孝文 様

テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」



卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取り組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

地域活性化に向けたラボたまの取り組み

株式会社地域デザインラボさいたま




『地域デザインラボさいたま』について

設立目的 埼玉りそな銀行の子会社として2021年10月設立されました

複雑化する地域のこまりごと解決のため、従来の銀行の枠組みを超えた領域まで踏み込み、
「広く・深く・長く」お客さまの発展に伴走します。

主な事業

- 地域課題解決事業 ～持続可能なまちづくりの実現～
- 産業創出支援事業 ～地域経済の活性化をサポート～
- りそなコエドテラス運営事業 ～地域の魅力発信・産業創出～

ラボたまの事業モデル



ラボたまの事業領域

まちづくり分野 (官民連携)



観光・河川利活用



空き家対策



地域DX



卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取り組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

<p>ラボたまの事業領域</p> <p>産業創出支援</p>  <p>りそな コエドテラス</p>  <ul style="list-style-type: none"> ➢ 1918年建築の第八十五銀行本店をリノベーションした施設全般を運営 ➢ 国の登録有形文化財でもある川越のランドマークとしてのプレゼンスを発揮 	<p>りそなコエドテラス</p> <p>1F チャレンジショップ、フードコート、シェアキッチン</p> <p>2F Trattoria Azzurri KOEDO (レストラン、バーコーナー)</p>  <p>3F RESONA KAWAGOE BASE+ (インキュベーション・ワークスペース)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ 会員制のインキュベーション・ワークスペース ✓ 法人登記や住所利用・郵便受付サービスのオプションあり、個室ワークブースの利用可能 ✓ りそなグループの各種機能に加えて、起業家間交流や各種事業サポートも受けることが可能
---	---

<p>りそなコエドテラス</p> <p>地域の魅力創出</p> <p>2024年5月の開業以来、累計来場者数は約40万人に</p> <p>開業以来、約40万人の方にご来場いただきました。「今を照らす、未来とつながる」をコンセプトに、地域の皆さまに親しまれ、愛される施設として、さらなるサービス向上と地域貢献に努めます。</p> <p>賑わいに関する数字</p> <ul style="list-style-type: none"> 来館者数 約30万人 農産品取扱品目数 129品目 イベント開催件数 110件 メディア掲載件数 108件 ナイトタイム来館者数 約1.2万人 	<p>りそなコエドテラス</p> <p>新たな産業創出</p> <p>産業創出関連のネットワークは延べ1,000名超に</p> <p>開業以来、事業共創に繋がる各種活動を通じて、延べ1,000名以上の事業家の皆さまのネットワークができ、施設の会員数も200先を超えました。事業共創のマッチングも100件を超えています。</p> <p>産業創出に関する数字</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業共創マッチング件数 104件 会員数 246先 伴走支援実施者数 46先 産業創出関連イベント参加者 1,000名超
---	--

卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

りそなコエドテラス

▶登壇者5名を迎え開催。熊谷経済新聞社やスポーツ関連ビジネスを営む企業の最前線で活動されているリアルな声を発信

熊谷の起業・共創実現のためのリアル対談

株式会社LIBERANOVA 代表取締役 杉山 大樹氏
 株式会社東進 代表取締役 高岡 孝信氏
 一般社団法人 熊谷市リアルデザイン 代表 中島 雄平氏
 合同会社ハクワークス 代表取締役 白田 和裕氏
 株式会社うまの 代表取締役 菅迫 功次氏



りそなコエドテラス

新たな産業創出

産業創出関連のネットワークは延べ1,000名超に

開業以来、事業共創に繋がる各種活動を通じて、延べ1,000名以上の事業家の皆さまのネットワークがで、施設の会員数も200先を超えました。事業共創のマッチングも100件を超えています。

産業創出に関する数字



りそなコエドテラス ～起業家伴走支援～

▶「SAITAMA Smile Womenピッチ2025」参加に向けた伴走支援希望をいただき、ビジネスモデル整理や、将来的な展開を踏まえたプランを作成

障害のシーズ×日本文化を世界へ

法人名	株式会社四鏡
経営理念	障害を『違い』として尊重し、その価値を通じて新たな気づきを社会に広げ、共生する未来を創造
ビジネスプラン	障害者アートの情報をプラットフォーム化 中小企業のデザインをコーディネートし、富裕層・インバウンド向けに新たなデザインを使用した商品を提案

権田酒造「直実」×松岡醸造所「帝松」のブレンド限定ボトルを企画。ラベルを障害者アートにし、昨年10月に本数限定リリース



りそなコエドテラス ～起業家伴走支援～



卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

まちづくり分野 (官民連携)

官民連携でのラボたまの役割

自治体の課題	民間事業者の声
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 官民連携事業の進め方、リスク分担など基本的ノウハウを知りたい ➢ 民間事業者へどのようなインセンティブをつければよいか… ➢ 公的不動産を活用した賑わいづくりのアイデアを知りたい など 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自治体から事業性を判断できる十分な情報を得られない ➢ 自分たちのビジネスモデルを活かせるか分からない ➢ 自分たちだけでは事業展開するリスクが高い など

いっしょに成長
ラボたま
地域デザインラボさいたま

官民連携によるまちづくり

これまでのまちづくり(行政主導)

年々増える業務
職員数・予算の減少
課題は積算

行政(市役所等) ↔ 補助金支給 活動の委託

行政(市役所等) ↔ 業務の発注 個別の連携

地域の住民・団体 ↔ 民間企業

個別の連携

行政の役割(=負担)が大きく、地域や企業のアイデア、能力が活かしきれない

これからのまちづくり(官民連携)

行政(市役所等) ↔ 役割分担と調整

行政(市役所等) ↔ ラボたまが支援

まちづくり団体 協議会等

地域の住民・団体 ↔ 民間企業

行政と民間の中間に「ハブ」となる組織が来ることで、全員が連携して役割を分担

【取組み例】志木市 官民連携によるまちづくり

中心市街地の賑わい創出に向けた志木市の取組み事例

- 公園での賑わい創出**
 - いろは親水公園のPark-PFIによる整備支援
- 空き店舗を活用したまちづくり**
 - チャレンジショップにおける創業支援
- 商業の空洞化への対応**
 - 志木市中心市街地活性化基本計画策定の支援
- まちなかの回遊促進**
 - 中心市街地活性化に係る運営支援
- 中心市街地の担い手づくり**
 - 民間事業者主導のまちづくり会社の設立支援

いっしょに成長
ラボたま
地域デザインラボさいたま

卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取り組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

駅周辺の地域活性化イメージ(まちなかの再整備と賑わいづくり)

中心市街地活性化の基本方針

- 方針1: 魅力的な個店が集積し、新たな魅力の創出につながるチャレンジの支援・促進
- 方針2: イベント開催や情報発信の強化によるにぎわいの創出
- 方針3: 歩きやすさの向上・改善による回遊促進

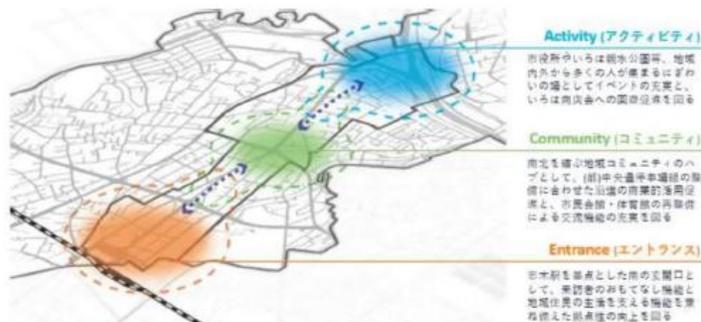


図 中心市街地のゾーニング

【取組み例】志木市 官民連携によるまちづくり

【志木市】民間事業者主導のまちづくり会社の設立支援

【課題】中心市街地活性化の担い手づくり

- 中心市街地活性化を担う民間のまちづくり会社を立ち上げるための事業計画策定支援
- 中心市街地の活性化を担うまちづくり会社のスローガンやミッション、提供する価値、めざすゴールなどの計画を構築
- 具体的な事業内容を立案し、具体的な収支を想定した損益計算書や貸借対照表の作成もを行い、新会社の設立に貢献

<志木まちづくり株式会社の提供価値>

- (1) 経済活力の向上
- (2) にぎわい創出
- (3) 歩行空間などの環境改善



【取組み例】志木市 官民連携によるまちづくり

【志木市】中心市街地活性化に係る運営支援

【課題】中心市街地の活力向上、まちなかの回遊促進 等

- 志木市中心市街地への来訪者が回遊してくれる仕組みづくり企画し、2023年12月には、人々の回遊を促進することを目的としたイベント「志木で歩こう、健康で笑おう! デジタルスタンプラリー」を開催



【取組み例】志木市 官民連携によるまちづくり

【志木街づくり】チャレンジショップにおける創業支援

【課題】空き店舗を活用したリノベーションまちづくり

- 同一空間に複数の事業者が同居・連携して共創事業を行う場所として活用
- 事業を希望する方々に声がけし、創業を希望する方々の相談業務、事業実施に向けた伴走支援を実施



卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」

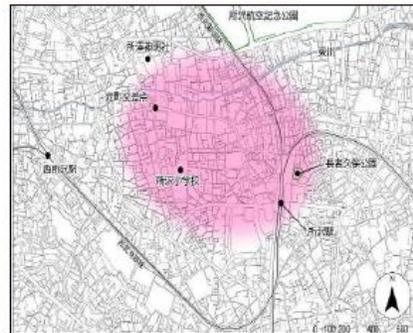
地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

【取組み例】ところざわエリアプラットフォーム(仮称)構築支援業務

【所沢市】ところざわエリアプラットフォーム(仮称)構築支援業務

【課題】所沢駅周辺の活性化に向けた担い手づくり

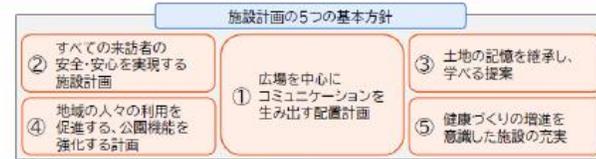
- 「所沢駅周辺グランドデザイン」に示すビジョンの実現に向け、旧町エリアにおける魅力の持続及び向上のための「エリアプラットフォーム」の構築、「未来ビジョン」の骨子の検討を行う



-21-

【取組み例】熊谷市子育て支援・保健拠点施設整備事業

- 老朽化が進む保険・医療・児童福祉施設を「蚕業試験場跡地ひろば」に再編し、整備・維持管理・運営を一体的に行い、財政負担の軽減や公共サービスの水準の向上を図る事業
- 名称『くまキッズ』(2026年4月開業予定)



中央広場での交流イメージ



施設イメージ図

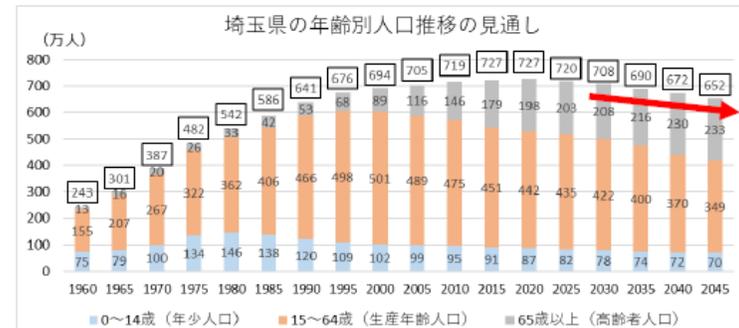


-22-

熊谷市における地域活性化に向けた課題

埼玉県の人口の推移・推計

～今後は、全国屈指のスピードで高齢化が進んでいくことが予想されている



人口	734万4千人 (R2)	全国5位
平均年齢	46.8歳 (R2)	全国7位
生産年齢人口比率	61.1% (R2)	全国4位
県内総生産(名目)	23.2兆円 (H30)	全国5位
年間商品販売額	18.3兆円 (H27)	全国7位

出所：国勢調査・H30社人研

※推計人口、平均年齢及び生産年齢人口比率は国勢調査「国勢調査特別集計(人口動態基本集計)」、県内総生産(名目)は国勢調査「県内総生産集計」、年間商品販売額は国勢調査「県内総生産集計」に基づいて推計

-24-

卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

埼玉県の人口の推移・推計

- 都市では、人口減少により、「都市のスポンジ化」やDID（人口集中地区）の低密度化が進行

20年における空き地等の分布の変化 ⇒ スポンジ化

茨城県日立市の事例



出典：国土交通政策研究所「空地等の発生消滅の要因把握と新たな利活用方策に関する調査研究」（平成27年3月）
 ※ 本資料は、自治体戦略2040構想研究会（第5回 平成29年12月）事務局資料から引用しているもの。

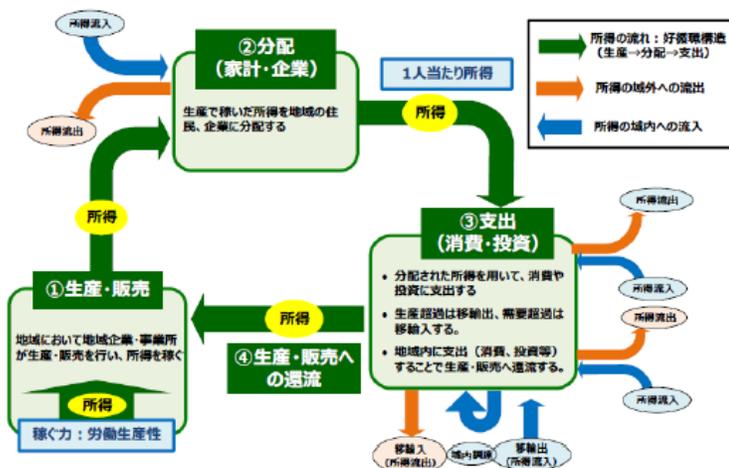
熊谷市の人口の推移・推計

- 熊谷市の人口は、2025年は187,592人、2040年は157,774人(16%減)と推計
- 高齢化率(65歳以上の人口比率)は、2025年31.5%、2040年37.5%と推計



出典 「埼玉県の市町村将来人口推計ツール」より作成

地域経済循環構造



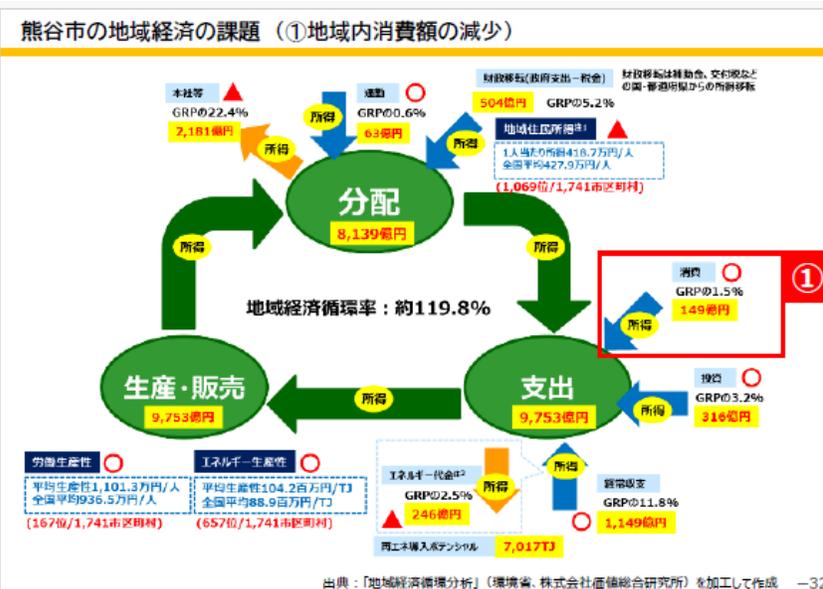
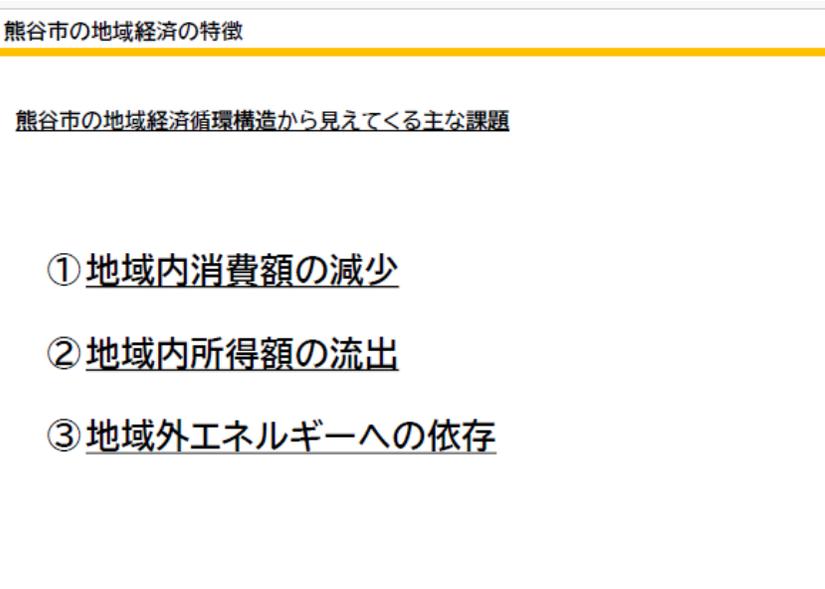
出典：地域経済循環分析-地域経済循環分析自動作成ツール、地域経済波及効果分析ツール 共通手引き詳細編(副読本)-Ver4.0 令和7年3月(環境省、株式会社産債総合研究所)より

地域経済循環構造

段階	内容	ポイント
①生産	企業が生み出す付加価値	地域内調達率・産業構造が見える
②分配	雇用者所得や企業所得として分配	通勤流入・流出による所得の移動
③支出	消費や中間投入(原料・部品購入等、生産活動において他企業から購入するもの)として使われる	商圏の強さ・購買の流入

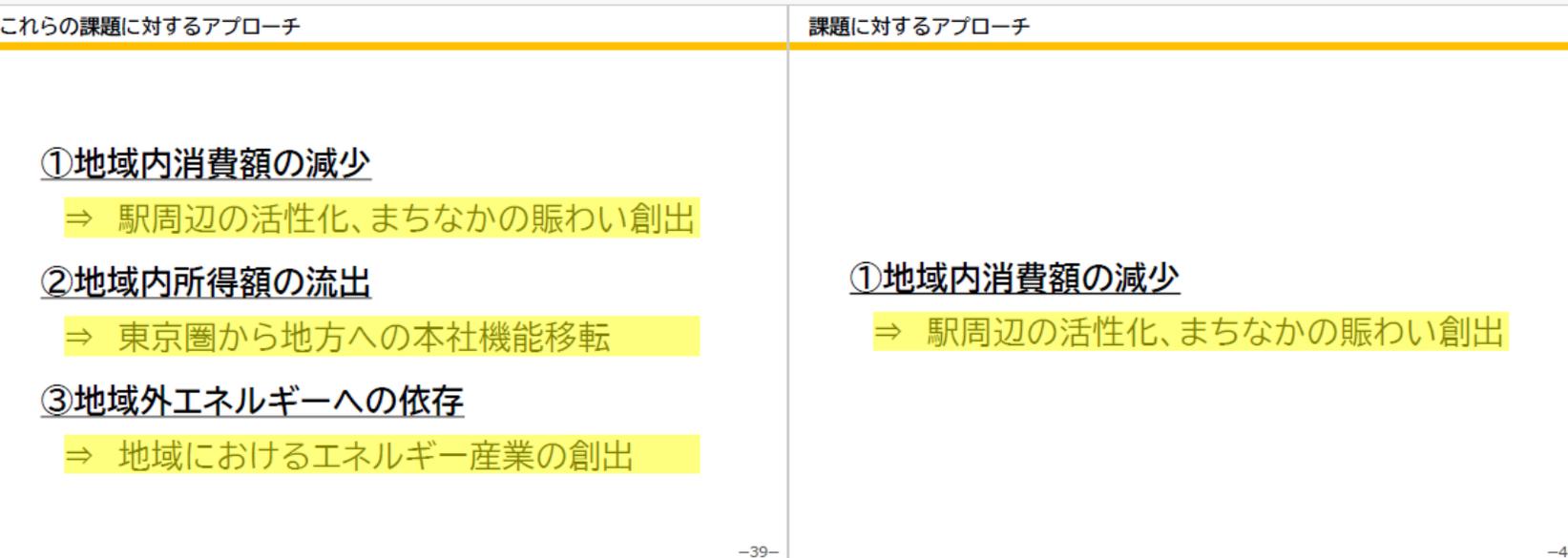
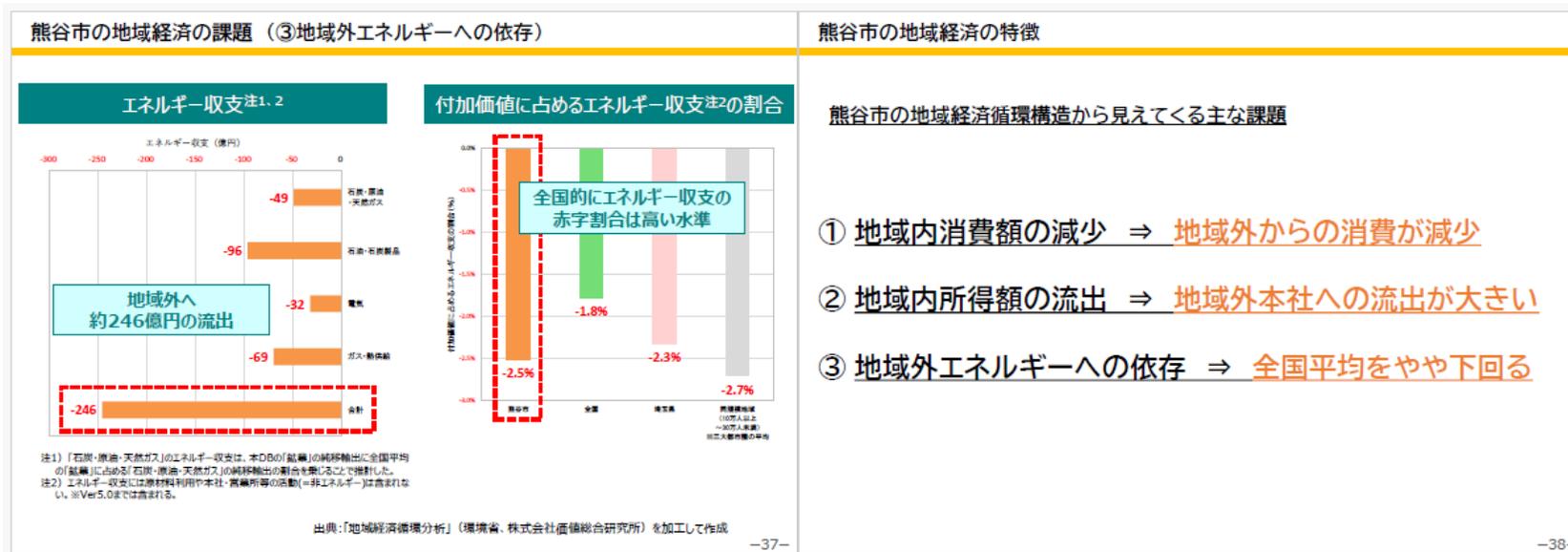
卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文様



卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様



卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

①地域内消費額の減少(春日部市の事例)

駅周辺の活性化

【現状と課題】

- 春日部駅周辺は、利便性の高い鉄道ネットワークや広域交通網の拠点であり、昼間人口密度の高いエリア

⇒ 今後は、訪れたい魅力や、ゆったり過ごせる場づくりが課題

昼間人口密度 (2015年・町丁目集計)

中央一丁目地区

出典：「春日部市中央一丁目地区まちづくり方針」より抜粋

①地域内消費額の減少(春日部市の事例)

- 多様な世代が繰り返し訪れたい魅力や、春日部らしい魅力的な機能・空間へ
- 東武鉄道の乗換駅である交通利便性を活かし、商業・業務、教育・文化など、多様な都市機能の結節地点として、人々の集い・交流を促進する拠点へ

出典：「春日部市中央一丁目地区まちづくり方針」より抜粋

①地域内消費額の減少(春日部市の事例)

出典：「春日部市中央一丁目地区まちづくり方針」より抜粋

①地域内消費額の減少(志木市・チャレンジショップ事例)

まちなかの賑わい創出

- まちづくり会社が実施主体となり、中心市街地活性化基本計画に位置づけられた「チャレンジショップ事業」を展開。
- 中心市街地内にある空き店舗やテナント等のスペースを営業訓練やマーケティングの場として開設・提供し、創業・運営に関するサポートを実施。
- まちづくり会社は、創業スクール運営や空き家・空き店舗情報収集、チャレンジショップ卒業後の開業を支援。

出典：志木市中心市街地活性化基本計画・志木まちづくり株式会社HP

卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

課題に対するアプローチ

②地域内所得額の流出

⇒ 東京圏から地方への本社機能移転

-45-

②地域内部所得額の流出(熊本市の事例)

東京圏から地方への本社機能移転




熊本県熊本市
株式会社BISアウソーシング熊本様

地域と共に成長する企業経営 — 人財発掘と拠点拡大で持続可能な人財活用

熊本県熊本市は、人口約40万人を擁する九州最大の都市であり、近年、東京圏からの本社機能移転が相次いでいる。株式会社BISアウソーシング熊本は、この流れを捉え、人財発掘と拠点拡大を通じて、持続可能な人財活用を実現している。

熊本県熊本市は、人口約40万人を擁する九州最大の都市であり、近年、東京圏からの本社機能移転が相次いでいる。株式会社BISアウソーシング熊本は、この流れを捉え、人財発掘と拠点拡大を通じて、持続可能な人財活用を実現している。

出典：内閣府「企業の地方移転・拡充自治体支援の取組事例集」より

-46-

②地域内部所得額の流出(熊本市の事例)

【メリット】

事業コストの削減 / 人財確保 / BCP / 従業員の幸福度 (well-being) / 社会貢献の強化 / 自治体との連携強化 等

熊本県熊本市は、人口約40万人を擁する九州最大の都市であり、近年、東京圏からの本社機能移転が相次いでいる。株式会社BISアウソーシング熊本は、この流れを捉え、人財発掘と拠点拡大を通じて、持続可能な人財活用を実現している。

熊本県熊本市は、人口約40万人を擁する九州最大の都市であり、近年、東京圏からの本社機能移転が相次いでいる。株式会社BISアウソーシング熊本は、この流れを捉え、人財発掘と拠点拡大を通じて、持続可能な人財活用を実現している。

出典：内閣府「企業の地方移転・拡充自治体支援の取組事例集」より

-47-

②地域内部所得額の流出(熊本市の事例)

熊本市

地方自治体の活用事例 CASE 4

充実した支援制度で 幅広い業種の企業誘致に注力



熊本県熊本市は、人口約40万人を擁する九州最大の都市であり、近年、東京圏からの本社機能移転が相次いでいる。株式会社BISアウソーシング熊本は、この流れを捉え、人財発掘と拠点拡大を通じて、持続可能な人財活用を実現している。

熊本県熊本市は、人口約40万人を擁する九州最大の都市であり、近年、東京圏からの本社機能移転が相次いでいる。株式会社BISアウソーシング熊本は、この流れを捉え、人財発掘と拠点拡大を通じて、持続可能な人財活用を実現している。

出典：内閣府「企業の地方移転・拡充自治体支援の取組事例集」より

-48-

卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

②地域内部所得額の流出(熊本市の事例)

熊本市の事例に関する詳細な説明とデータ。熊本市の人口や所得状況について触れています。

熊本市 CASE 4

熊本市の事例に関する具体的なデータやグラフ。所得額の流出に関する分析が示されています。

出典：内閣府「企業の地方移転・拡充自治体支援の取組事例集」より -49-

②地域内部所得額の流出(熊本市の事例)

地方移転・拠点拡充のモデルケース事例(6類型)

①地方貢献・Uターン型 (株)サザンシステムズ (岩崎町岩崎市)

事業拡大や地域の活性化に貢献するため、地元企業への移転や拠点の拡充が行われています。

②BCP型 (株)シンスホールディングス (群馬県前橋市)

災害対策として、事業拠点を複数の地域に分散させることで、リスクを軽減しています。

③自治体応援型 (株)BBSアウトソーシング熊本 (熊本県熊本市)

自治体の支援を受け、地元企業への移転や拠点の拡充が行われています。

④研究拠点強化型 タカラバイオ(株) (福岡県糟屋郡)

研究開発の拠点を強化し、地域の産業振興に貢献しています。

⑤クリエイティブ型 (株)シヤプト (静岡県静岡市)

クリエイティブ産業の拠点を創出し、地域の活性化に貢献しています。

⑥人的資本経営型 (株)オカノアパレル (山形県南陽市)

人的資本を重視し、地域の産業振興に貢献しています。

出典：内閣府「企業の地方移転・拡充と自治体支援の取組事例のHP」より -50-

課題に対するアプローチ

③地域外エネルギーへの依存

⇒ 地域におけるエネルギー産業の創出

③地域外エネルギーへの依存(福岡県・みやま市の事例)



卓話テーマ 「地域活性化に向けたラボたまの取組み」

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様

<p>③地域外エネルギーへの依存(福岡県・みやま市の事例)</p> <p>エネルギーの地産地消の流れ 高く買い取り、安く販売</p> <p>5500kW (一般家庭1800世帯分) メガソーラー</p> <p>買取サービス (契約済約220世帯) 家庭の太陽光余剰電力</p> <p>卸電力取引所も活用 九州電力</p> <p>みやま市・共同出資者</p> <p>みやまスマートエネルギー</p> <p>11月より 電力調達</p> <p>11月より 電力供給</p> <p>【高圧】市の公共施設(36カ所) + 柳川市・大木町の公共施設 + 民間の事業所</p> <p>【低圧】一般家庭や市内の商店等</p> <p>市民サービスの充実</p> <p>出典：福岡県みやま市「みやま市のエネルギーの地産地消に向けた活動 ～エネルギーとしまわせの見えるまちづくり～」より53-</p>	<p>③地域外エネルギーへの依存(福岡県・みやま市の事例)</p> <p>SDG1 DESIGN AWARD 2015 グッドデザイン金賞</p> <p>市民への啓発活動の取組み</p> <p>将来の世代へ、持続可能な地域社会づくり(故郷への愛着)を拡げていく...</p> <p>引き続き、市内小・中学校へ広めていく。</p> <p>2019年度から市内全小学校5年生の社会科の時間でみやま市の取組みを学ぶ(副教材)</p> <p>気づきの場</p> <p>出典：福岡県みやま市「みやま市のエネルギーの地産地消に向けた活動 ～エネルギーとしまわせの見えるまちづくり～」より54-</p>
--	--

<p>課題に対するアプローチ</p> <p>①地域内消費額の減少 ⇒ 駅周辺の活性化、まちなかの賑わい創出</p> <p>②地域内所得額の流出 ⇒ 東京圏から地方への本社機能移転</p> <p>③地域外エネルギーへの依存 ⇒ 地域におけるエネルギー産業の創出</p>	<p>最後に</p> <p>熊谷市の活性化に向けて、『産業』、『人』、『暮らし』等の様々な面で地域のハブとなりサポートさせていただきます。</p> <p>ご清聴ありがとうございました。</p>
---	--

出席報告

出席推進委員会 副委員長 大石 聡一

例会日	会員 総数	欠席者		出席者	事前 MU	出席率
1月30日	97名	届出	13名	52名	9名	64.9%
		無届	32名			



1月30日 ニコニコBOX

ニコニコBOX委員会 佐久間 文彦 委員

松崎 邦夫、石垣 伸明、井上 浩

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様、
本日は、ようこそ熊谷ロータリークラブにお越し下さいました。卓話、宜しくお願い致します。

富田 満、秋山 恵一

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様、
本日は、ようこそ熊谷ロータリークラブにお越し下さいました。
ラボたまの取組にとっても興味があります。どうぞよろしく申し上げます。

森田 康志、新井 清貴

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様、本日は、ラボたま様の取組のお話を
プログラム委員一同楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

田中 哲夫

地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様、ようこそ熊谷RCへ、
今日はよろしく申し上げます

小林 肇

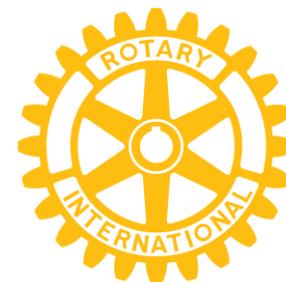
地域デザインラボさいたま 代表取締役社長 園田 孝文 様には、
お忙しいところようこそ熊谷RCへお越し下さいました。地域活性化への道標をご示唆下さい。

前原 郷

地域デザインラボさいたまの園田社長様、お忙しい中、
熊谷ロータリークラブにお越し頂きましてありがとうございます。卓話宜しくお願い致します。

齋藤 邦裕

今日は、ラボたまさん、の取組みを学んで帰れることを楽しみにきました。
よろしく申し上げます。



1月30日 ニコニコBOX

ニコニコBOX委員会 佐久間 文彦 委員

福島 良浩

今週も鍋焼きうどんゲットしました。うまかった。温たまる～。

小林 健郎、森田 光春

内藤さん長きに渡り、昼に夜にわがままなメンバーの対応をいただきありがとうございました。転勤先でも頑張ってください。

井埜 利博

誕生日のプレゼントありがとうございました。とうとう後期高齢者です。紅茶は妻が好きなので喜んでいました。

岡部 聡史

誕生日のお祝いありがとうございました。54才になりました。これからもよろしくお願いします。

守田 征弘

結婚記念日のお花をいただきありがとうございました。去年は引越のバタバタで受取れなかったもので、妻が非常に喜んでくれました。



1月30日 ニコニコBOX

内藤 司

本日が最後の例会参加になります。3年間本当にありがとうございました。伝統と格式、そして品格と思いやりにあふれた熊谷ロータリークラブの益々のご繁栄を心よりご祈念申し上げます。



柿沼 伸幸

内藤 司さんに送ります。

アラン・ドロンの主演のフィルム・ノワール映画の「仁義」（1970年作）の冒頭に文字で書かれた言葉です。

ゴータマ・シッダールタ尊称

ブッダは、一魂の赤いチョークを、つかみ輪を描いて言った。「人はそれと知れずに再会する時、各々に何が起ころうが、異なる道を進もうが、赤い輪の中で出会うことが必然である」



今後のスケジュール

- 2月 6日(金) ・第8回理事会 会場：東京海上日動ビル5F小会議室
・通常例会 // 大会議室
イニシエーションスピーチ
水戸証券株式会社熊谷支店
支店長 中濱 仁 会員

13日(金) 休 会

20日(金) 2月23日(月・祝)
インターシティーミーティングに振替

